

memo ソフト my_help の改善

情報科学科 27014520 山田智子

1 背景

私たちは、何か知識を得たときに度々メモを取る。そのメモには自分自身にとって知識を思い出すために必要なキーワードが書いてある。しかし、そのメモを紛失してしまったり、どこへやったかわからなくなってしまう。そこで、メモを探す手間や紛失する可能性を無くすために my_help という memo ソフトが開発されている。[1].

現在、my_help は自身の知識を memo として残すことができるシステムである。その memo は自分にとって重要なものだが、他人が知識を得ることに重要な役割を担うと考えた。そこで、より効率的な知識の習得方法として、AM/PM という考え方がある。[2]

AM(acquisition metaphor) 旧来の学習感。学習とは何かを獲得する (acquisition) ことであり、知るとは持つ、所有することである。学習という行為が非常に個人レベルに押し込められた感じがある。しかし、現在の社会では個人の能力が測られるという意味で、知識を所有することが不可欠である。

PM(participation metaphor) 新しい学習感。学習あるいは学習者とは参加者であり、テキストや教授者から知識を得るのではなく、自らも参加者になって知識を共有する。

この AM/PM の両方を行うことが知識の習得に欠かせないと考えた。

また、自分で作成した my_help を公開することによって、以下のことが期待される。

- 自分の間違いが修正される。
- 人に教えることによって、知識の定着が促進される。

よって、本研究では my_help の追加機能として共有機能を作成する。

2 my_help について

my_help は emacs の Markdown である org-mode を利用したソフトなので、その export 機能を利用すれば HTML や LaTeX など様々なフォーマットに変換可能である [3]. org-mode で作成した文章は emacs 以外でも利用できる。例えば、github では.md と同じ様に.org に対応している。

3 手法

西谷研究室では、研究内容を Github で管理、バックアップを行なっている。現在、学生同士の知識の共有も Github で

行っているが、学生の残した memo は各自のフォルダの中にあり、他の学生から見てどのディレクトリのどのファイルに欲しい知識があるのか探す手間がかかる。

そこで、公開リポジトリ our_help を作成し、その中で知識の蓄積、共有を行う。知識を共有する場所を制限することで、自他ともに必要な知識の検索する手間の削減が期待される。

以下、my_help で作成された memo の共有方法を示す。

3.1 リモートコンピュータと同期

リモートコンピュータに各自アカウントを作成する。

次に、our_help を git clone して、その中の member に各自のディレクトリを作成する。各自のディレクトリ内に my_help で作成した memo を新たに作成した upload command を利用し、蓄積する。

3.2 my_help の memo を集める

Github の our_help/member/USER_NAME に push された org ファイルをそのままでは欲しい知識の内容を把握するのに手間と時間がかかる上に見にくい。memo の概要、リンク、著者を our_help/savings/web.org 上に掲載する。

3.3 memo を見る

our_help/savings/web.org 上の知識を見る。HTML に変換し、web 上でも確認できる。

3.4 欲しいファイルを選択し、pull する

web.org 上にある欲しいファイルを選択し、Github から pull する。

4 開発目標

本研究では、my_help を改善し、発展させて行くことが今後の目標である。そのため、次のような機能を実装する。

現在の my_help は、欲しい内容のファイル名がわからない場合に対応しておらず、ファイル内の検索機能を追加する。

また、web 上で表示する際に Like 機能や投稿に応じてポイントを付加し、ranking 表示を行うことによって、memo の共有を促進させる。

参考文献

- [1] https://github.com/daddygongon/my_help, Daddygongon, (18/09/16 accessed) .
- [2] “On Two Metaphors for Learning and the Dangers of Choosing Just one” , Anna Sfard, Educational Researcher, 27(1998), 4 - 13.
- [3] <https://qiita.com/dwarfJP/items/594a8d4b0ac6d248d1e4>, (18/09/16 accessed).